

大分県議会・県民クラブ会報 中津市版 Vol.49

[発行] 大分県議会・県民クラブ 吉村なおひさ

きずな 絆

いのち輝く
共生のまちづくり



〒871-0014 中津市大字一ツ松179-7FUJIHIRO.Bld N103号

TEL 0979-64-7244

E-mail nmdmkm1199@yahoo.co.jp

一日も早い災害からの復旧・復興を

～7月10日を中心に大分県北部を襲った大雨による災害に係わっての復旧工事が始まります。道路、河川、治山、林道、漁港などの復旧工事の予算案が9月議会に提案され、可決されました。～

大雨災害からの復旧・復興に向けた具体的な取組

被災した道路、河川などの
公共土木施設の原型復旧事業
(74億5400万円)

道路
(32か所)

河川
(194か所)

砂防
(50か所)

※メイプル耶馬サイクリングロードについては、秋の観光シーズンを見据え、仮復旧を行い、シーズン終了後、本復旧を行う。

土砂などの流入により航路埋塞等の
被害を受けた
小祝漁港の復旧事業
(3億6000万円)

- ・航路の浚渫(しゅんせつ)
- ・河口護岸工事(3億円:当初予算で)



▶ 小祝漁港写真

被災した林道の復旧事業
(5億9970万円)

岳滅鬼線など 42路線

山地崩壊、土砂流出などの
被災箇所における
復旧及び機能強化のための事業
(12億7590万円)

上惣見地区など 12か所

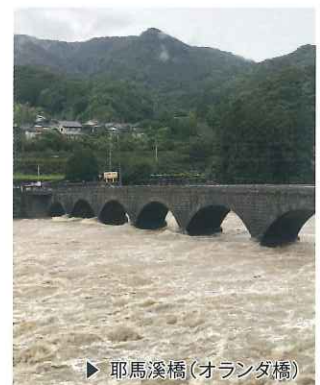
被災した文化財の復旧を行う
市に対する補助 (約180万円)

県指定有形文化財羅漢寺橋
(補強工事) など

耶馬溪橋(オランダ橋)

耶馬溪橋は、大正12年に造られた116メートルの石造りのアーチ橋で、昨年、国の重要文化財に指定されました。

今回の大雨により橋の欄干が流出しましたが、2012年の豪雨でも被災をしており、現在、有識者等の意見を参考にしながらどのような復旧をするべきか検討中です。



▶ 耶馬溪橋(オランダ橋)

9月補正予算における主な事業

新長期総合計画の策定

県民と目標を共有しながら、誰もが安心して元気に活躍できる大分県、知恵と努力が報われ未来を創造できる大分県を目指し、県政運営の道しるべとなる計画の策定に向けた議論がスタートしました。

貨物自動車運送業環境改善緊急支援事業(約3億2600万円)

「2024年問題(2024年4月1日以降、トラックドライバーの時間外労働時間を上限960時間とする規制が設けられることにより運送会社の利益の減少、ドライバーの給与の減少やそれに伴う離職などにより、物流業界に大きな影響が出る問題)」に直面する貨物自動車運送業務の経営環境等を改善するため、価格転嫁や人材確保等に取り組む事業者に対し、支援金を支給する。

- 【支給額】・大型自動車…5万円/1台
- ・大型自動車以外…2.5万円/1台
- 【限度額】1事業者あたり250万円

ホーバー旅客ターミナル等の新築工事の変更について

旅客ターミナル上屋や艇庫などの工事を実施しているが

- ①地盤が軟弱であるため、地盤改良工事を追加
- ②スロープの軒裏の天井材に県産の杉板を使用すること

などのため増額補正を行う。

【当初契約金額】21億2520万円 【変更契約金額】23億2519万1千円



▶ 旅客ターミナル完成イメージ

旅館業法施行条例の一部改正について

旅館業等の事業活動の継続に向けた環境整備のため、生活衛生関係事業譲渡による営業者の地位の承継と、感染症のまん延防止の観点から宿泊拒否事由の明確化。

※宿泊拒否に従わない者に対しては50万円以下の罰金

大分県立学校の設置に関する条例の一部改正について

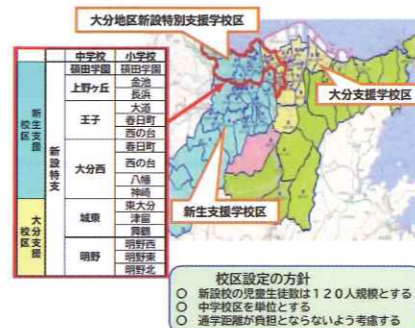
大分市内における特別支援学校の児童生徒数の増加に伴う教室不足に対応するため、大分県立中央支援学校を設置するため。

※大分支援学校、新生支援学校に加え、大分市内に知的障がい特別支援学校を令和6年4月に開校



旧聾学校校舎を改築(大分市東大道)

新設特別支援学校の校区



意見書の採択

9月議会において、4本の意見書が採択されました。

私学助成制度の堅持及び拡充強化を求める意見書

硬膜外自家血注入療法に対する適正な診療上の評価等を求める意見書

サーキュラーエコノミーの実現を目指した施策の推進を求める意見書

下水サーバランス事業の実施を求める意見書

軽油取引税の課税免除措置の継続等を求める意見書

なお、私が所属する県民クラブより2本の意見書(案)を提案しましたが、賛成少数で否決されました。

陸上自衛隊大分分屯地に新設する火薬庫への長距離射程ミサイルの保管に反対する意見書

健康保険証の存続を求める意見書



歩み

主な調査研究や活動の記録



8月18日(金)~19日(土) 全国政策研究集会in東京

テーマ「自治で創る命の安全保障」

自治体のコロナ対応、地方議会のありよう、生活困窮の実態、気候変動対策、子育て支援・少子化対策などについて、報告と討議がなされた。

8月22日(火)~24日(木)

福祉保健生活環境委員会県外所管事務調査

いばらき出会いサポートセンター

会員制のマッチングシステムによるパートナー探しの支援、出会いの相談仲介を行うマリッジサポーターの支援などを行っている公的な結婚支援センター。



▶ 茨城県三の丸庁舎前

ポニースクールかつしか

ポニーの世話や乗馬を通して豊かな人格形成を図るとともに、異年齢の子どもたちの交流、健常児と障がい児の交流によって協調性を育むことを目的として活動。



▶ ポニースクールかつしか

東京都庁 東京都環境基本計画について

一般社団法人アイネット

茨城県内の拠点を中心に就労支援事業、ひきこもり支援事業、精神障がい・発達障がい支援事業など、支援活動を行っている。ひきこもり相談支援センターにおいては、本人や家族の相談に対して助言を行うとともに、相談者の状況に応じて医療・福祉・労働・教育などの関係機関の橋渡しをするとともに、出口支援も実施。



▶▶ 3面より続き

歩み

主な調査研究や活動の記録



8月25日(金)～27日(日)

鶴市花傘鉾祭り

コロナ禍のため中止や規模を縮小しながら開催されていた、五穀豊穡を願う鶴市花傘鉾祭り(大分県指定無形民俗文化財)が、4年ぶりに従来の規模で開催されました。沖代平野を約30キロかけて各地区の花傘鉾が巡行しました。私も居住している地区から参加し、地域の子どもや宮総代の方々等とともに歩き、あらためて伝統文化のすばらしさと地域のつながりの大切さを強く感じました。

▶ 花傘鉾



9月17日(日)

小楠校区自主防災会(南部)防災訓練

小楠校区の3つ(牛神、一ツ松、宮夫)の地区合同での防災訓練が開催され、私も地域住民として、また防災士として参加させていただきました。さまざまな体験ができ、有意義な防災訓練になりました。課題も見つかる中で、継続していくことが大切だと思いました。



▶ 地震体験車

私の所属する会派である「県民クラブ」から提出した「陸上自衛隊大分分屯地に新設する火薬庫への長距離射程ミサイルの保管に反対する意見書」が賛成少数で否決されました。

この意見書提出に先立ち、9月19日に会派の議員などとともに大分分屯地を訪ね、防衛省職員から聞き取り調査をしました。

長距離ミサイルの弾薬庫(火薬庫)を2棟新設することに對するさまざまな疑問に對しての回答をしていただきましたが、今年11月より弾薬庫(火薬庫)の新設工事がされようとする中、弾薬庫(火薬庫)があるということ、この分屯地が狙われるのではないかと不安を住民が抱えていることに対しては、「弾薬庫(火薬庫)をつくることにより抑止力となると考えている」「自衛隊の防衛力が明らかになるので詳細については説明できない」と、とつてい納得できない回答もありました。

10月には、今年2回目の日出生台・十文字原における日米合同軍事演習が行われます。今後、九州・沖縄が前線基地化することが危惧されます。子どもたちにも平和を引き継ぐためにも動きを注視し、引き続き声を上げていかなければならないと強く思っています。そのような中、政府は5年間で防衛費を43兆円とするとしています。が、喫緊の課題である人口減少や少子高齢化、福祉、教育などに対応する予算を充実すべきではないでしょうか。

つぶやき

